

第5号議案 令和4年度 事業活動計画(案)

活動の目的

地域のさまざまな課題の解決と地域資源の活用をめざして、三田市との協働のもと地域住民が一体となって交流の場の拡充や地域情報活動の円滑化を図る。

コロナ禍で活動が制約される中、構成団体間の更なる連携の強化を図るとともに、活動団体や地域のあらゆる人たちによるグループが取り組むオープン事業や、多世代交流事業を核とし、益々コミュニケーションの輪を地域の隅々まで広げ、絆を強める。

このことにより、少子高齢社会に適応した、弥生らしい「安心・安全」で「明るく・住みよいまちづくり」を目指し、個人の『点』から『線』にそして大きな『輪』につなげることを目的とする。そのために必要に応じて専門部会や、実行委員会を設置するなど活動の推進を図る。

活動内容

I. 主催事業

- 1) 事務員を1名(3名シフト)雇用継続(毎週月～土9:00～13:00常駐)各団体の連絡窓口と、まち協や構成団体の事務的業務の軽減に努める。
- 2) まち協活動の周知、地域情報の伝道に「まち協だより」を年3回発行する。
- 3) 『やよい夢ひろば』については、子どもたちや大人が楽しい憩いの場として安心して活用できるように、多世代交流用備品の購入、倉庫の設置(スポーツ用具専用)、草花の植栽や長椅子・テーブルの設置、「使用の決まり」看板設置及び坂道の改良と暗渠排水処理をして使いやすい広場の実施
- 4) 来期上半期の多世代バス日帰り旅行を計画する

II. 共催事業

- 1) 自治会の「ほっと841」中心に2・3丁目街区公園の草刈りを年3～4回程度実施
- 2) 「夢ひろば」の維持管理を弥生会の有志中心に四季を通じて実施する 50回/年
- 3) 本年度も引き続き三田市が定めた「避難行動要支援者支援制度」に基づき自治会が行う要支援者に対する支援活動が円滑に機能するよう、まち協として関係諸団体と協議を重ね成果を得るよう調整を諮る。

III. 支援事業

- 1) まち協『やよいっ子サロン実行委員会』が「てらこや(英・数)」や「夏・冬休み宿題お助け隊」に加えて「テニス教室」などのイベントを実施
- 2) 「いきいき百歳体操」「うたごえ広場」等の健康・文化事業の会場費の一部支援
- 3) 「とんど」、「餅つき大会」、「弥生フェス」等の交流事業の資機材費用の一部支援
- 4) コミセン常設AEDレンタル費用と、防災用デジタル簡易無線機の電波使用料を負担
- 5) その他各種オープン事業への支援
- 6) コロナ感染防止対策に伴う安全衛生関連備品の調達
- 7) コミセンの多世代利用にともなう用具の調達

IV. 後援事業

- 1) 「カフェやよい」(毎週火曜日)で再開予定
- 2) 「オアシスやよい」(毎月第3土曜日)で再開予定

- 4)「弥富(ヤフー)こうみん未来塾」(年2～3回のプログラム)
- 5)生活支援活動「ハートやよい」の側面的な協力を継続する。
- 6)「弥生テニスサークル」(毎週金曜日三田谷テニスコートで)開催

活動の工夫

I-1)

定例役員会を年6回以上開催し、自治会を中心としたボランティア(ほっと841)の協力を得ながら横の連絡を高め、組織づくり及び活動計画の企画・推進を検討する。

I-2)

まち協事務員の事務作業に、「まち協だより」の編集の協力を加える。

従来どおり、各構成団体の連絡業務と事務作業の軽減のため手助けをする。

I-3)

『やよい夢ひろば』の適正な維持管理を継続実施し、多様な事業を企画する。